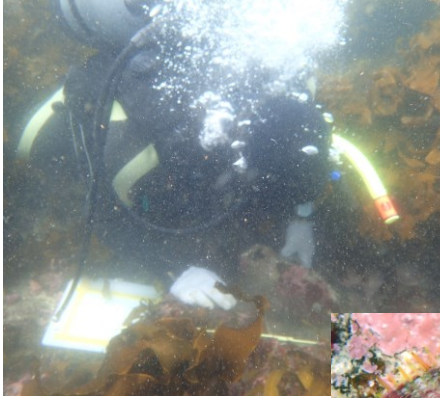


## アワビの稚貝を調べています

伊豆半島沿岸では、近年アワビの漁獲量が減少傾向にあります。放流したアワビ稚貝はある程度漁獲されていることから、天然の稚貝の発生や生育に問題があると考えられます。そこで、稚貝の生育条件を明らかにするため、環境の異なる複数の場所で、稚貝の生育密度を調べています。稚貝は小さく、見た目では種を判別できないため、DNAを分析して判別しています。



←潜水調査風景



発見したクロアワビ稚貝 (長さ 14mm) →

【解説】静岡県で漁獲されるアワビには、クロアワビ、メガアワビ（漁獲多）、マダカアワビ（漁獲少）の3種がいる。生息深度はクロアワビは浅く、マダカアワビは深いなど3種には生態的な違いがある。

## 白浜の低水温

7月中旬の旬平均水温が20.7℃と、昨年よりも1.8℃、平年よりも1℃低く、6月に戻った感じでした。特に7月17日には19.5℃と20℃以下を観測しました。通常、この時期は梅雨末期で南よりの風が吹く日が多くなります。このため伊豆半島東岸では下層の海水が表層に湧き上がり水温が低めになります。加えて今年は沖を流れる黒潮からの暖水の影響もなく、低め傾向が強まったと考えられます。

白浜での旬平均水温 (単位:℃)

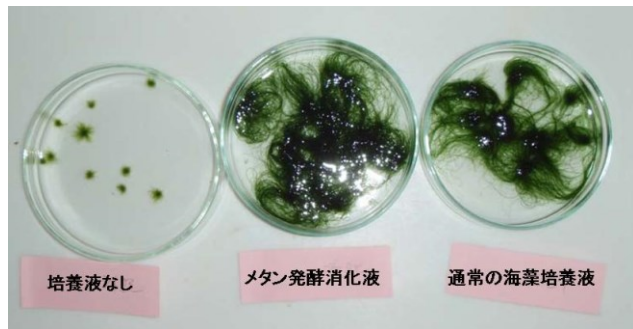
		平成26年	平成25年	平年
6月	上旬	20.6	20.4	19.6
	中旬	20.9	21.3	20.2
	下旬	20.5	20.7	20.6
7月	上旬	22.2	22.0	21.2
	中旬	20.7	22.5	21.7

※平年は過去32か年平均値

## メタン発酵消化液を利用したスジアオノリ培養

新成長戦略研究として食品廃棄物処理で生じるメタン発酵消化液を伊豆特産のスジアオノリの養殖に利用する研究を行っています。

↓スジアオノリ生長の試験区による違い



【解説】スジアオノリは松崎町の河川汽水域に生息する海藻。「松崎川のり」としてしずおか食セレクションに認定されている。冬季に採取され、濃い緑の色彩と香りが特徴だが、近年収穫量は減少。

8月2日伊豆漁協に科支所で「いか様祭」が開催されます。漁船の体験乗船、ところてん・イカ刺しの試食サービスなどが行われます。

**8月13日には県民の日事業として、「展示室特別開放－みんなで生物に触っちゃおう(タッチフル)」を行います。時間は15時から17時と18時から20時30分です。申し込みは不要です。ぜひお越しください。**